

広報

かつやま

4月号

No.534

平成12年4月13日発行



かつやまばし

新生 勝山橋開通

勝山橋開通記念



勝山駅から市街地への玄関口となる新しい勝山橋が完成し、3月25日に式典と記念イベントが開催されました。市民ら約700人が参加。全長335メートルの橋を歩いて渡り、完成の喜びを実感しました。

三世代家族ら渡り初め



式典には栗田知事や今井市長のほか、地元選出国会議員ら約一七〇人が出席。テープカットののち、くす玉を割って開通を祝いました。

その後、市内に住む三世代夫婦九家族を先頭に、式典の参列者と一般参加者がゆつくりと渡り初めをしました。参加者の中に混じって、ボランティアセンター「ドリーム2000」のメンバーが、「盛り上げようみんなの手で」と書いた横断幕を手に、恐竜エキスポへの参加をアピールする姿も見られました。

また、まちづくりグループ「おもしろ企画」と元町二丁目の青年サークル「SECOND」、南部中学校の



勝山橋メモリアル

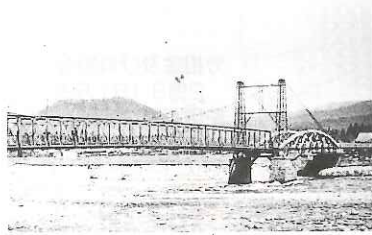
～明治時代

舟渡しによる往来により人馬、
物資を運ぶ

明治44年 鉄道建設決定により、
県会で架橋案が決定

明治45年 勝山橋建設工事着工

大正4年 初代勝山橋完成
(木橋+トラス+吊り橋、
全長約320メートル)



初代勝山橋

昭和9年 木橋部分が一部流失

昭和12年 木橋部分がコンクリート橋に改修

昭和37年 吊り橋部分がアーチ型鉄橋と
コンクリート橋に
(2代目勝山橋、全長333メートル)

平成6年 新勝山橋事業に着手

平成8年 2代目勝山橋取り壊し

平成12年 新勝山橋完成
(3代目、全長335
メートル)



2代目勝山橋



▲勇ましい太鼓を披露する「みむろ太鼓クラブ」



▲恐竜みこしが完成を祝いました



▲恐竜エキスポの参加をアピールする
ドリーム2000のメンバー

山並みイメージした アーチ橋

野球部による手作り恐竜みこしが参加。「下後交友会」も祭礼神輿を担いで、開通イベントを盛り上げました。当日は季節はずれの雪が舞う日になりましたが、「みむろ太鼓クラブ」の会員は力強いばちさばきで、寒さを吹き飛ばしていました。

今回完成した新しい勝山橋は、山並みをイメージしたアーチ型で、色も淡いグリーンを採用しています。全長は三百三十五メートル、幅二十二メートル

で、そのうち車道部分は九メートル、歩道は左右各四メートルになっています。平成六年に着手し、八年から本工事が行われていました。ゆったりとした歩道の所々にベンチが置かれ、夜には街路灯が幻想的な景色を創り出します。勝山橋はこれで三代目。勝山駅の利用者や遅羽町と市街地の往来だけでなく、将来完成する中部縦貫自動車道と市街地のアクセス道路の一部としても重要な役割を果たしていきます。

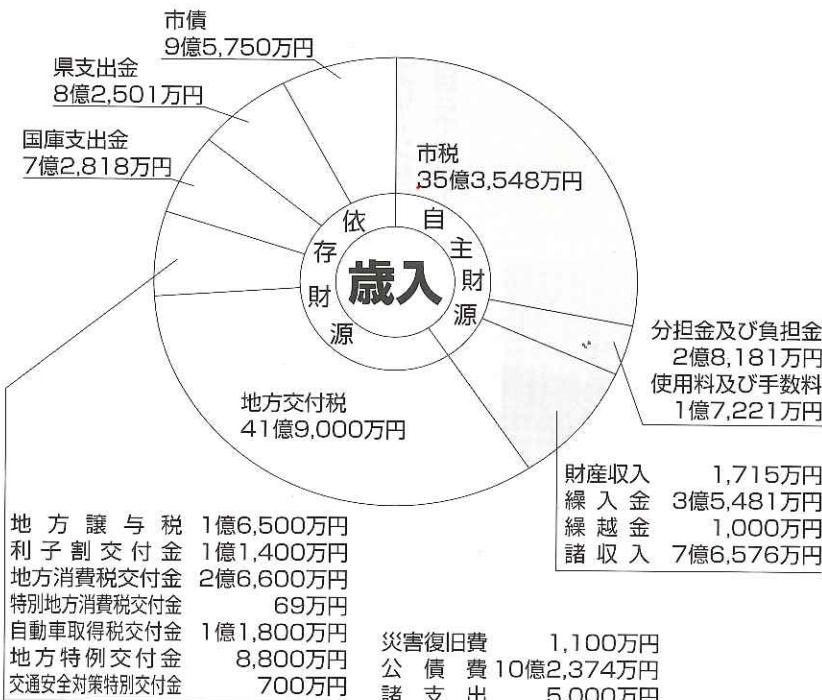
一般会計 125億9,660万円

平成12年度 当初予算

やさしさ

活力あるまちづくり

総額238億円



- 地方譲与税 1億6,500万円
 利子割交付金 1億1,400万円
 地方消費税交付金 2億6,600万円
 特別地方消費税交付金 69万円
 自動車取得税交付金 1億1,800万円
 地方特例交付金 8,800万円
 交通安全対策特別交付金 700万円

- 災害復旧費 1,100万円
 公債費 10億2,374万円
 諸支出 5,000万円
 予備費 500万円



平成12年度の一般会計予算は、前年度比0.1%減の125億9,660万円で、新たに設置した介護保険や下水道、老人保健等の特別会計と企業会計を含めた全体の予算規模は、238億3,224万円（前年度比10.4%増）となりました。

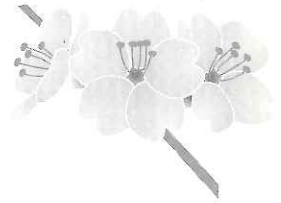
今年度は、21世紀の市政運営の指針となる勝山市総合計画を策定するほか、夏に開催される「恐竜エキスポふくい2000」の成功に向けた、街中イベントによる活性化事業などに取り組みます。また、制度融資の拡充等による商工振興対策、介護保険制度の開始による自立支援事業など、市民生活関連事業にも重点配分をしています。

平成12年度予算

		前年度比増減 (%)
一般会計	125億9,660万円	-0.1
特別会計	100億3,368万円	20.1
企業会計	12億 196万円	92.9
合計	238億3,224万円	10.4

エキスポ成功向け関連事業

商工融資・高齢者自立支援など重点配分



特別会計 103億3,368万円

区分	予算額	前年度当初比増減(%)
温泉センター会計	1億 247万円	-1.3
市有林造成事業会計	1億1,168万円	142.1
育英資金会計	3,980万円	10.0
国民健康保険会計	21億9,307万円	10.0
老人保健会計	36億1,787万円	-2.2
農業集落排水事業会計	2億4,634万円	-5.3
土地区画整理事業会計	7,140万円	-8.5
下水道事業会計	18億2,219万円	0.5
簡易水道事業会計	2億1,957万円	-32.6
介護保険会計	16億 929万円	皆増

一般会計

歳入

歳入面では、当市においては依然として不況感がぬぐえず、市税の増収は見込めない状況にあり、三十五億三千五百四十八万円と前年とほぼ同額(〇・一%減)としました。分担金及び負担金並びに国庫支出金においては、介護保険特別会計との関連でそれぞれ減額になっています。

財政調整基金繰入金は七千六百二十万円で、前年度より五億九千八百七十

企業会計 12億196万円

水道事業会計	12億 196万円	92.9
--------	-----------	------

歳出

歳出では、これまでも事務事業の見直し等により、経費の節減に努めてきましたが、今年度においても特別職報酬の改定見送り、管理職手当の一〇%削減、大会等の県外出張旅費の凍結、市長交際費などの削減を実施します。また、新たに職員の時間外勤務手当の

万円の減となっています。

市債は農林水産業債、土木債等で減額になっていますが、火葬場建設事業によって、前年度対比六・九%増の九億五千七百五十万円を計上しました。

事務事業の見直しによる節減

▽市長、議長、教育長交際費の削減	△ 183万円
▽管理職手当10%削減	△ 130万円
▽時間外勤務手当上限額引き下げ	△ 1,635万円
▽一般職員3名削減	△ 2,340万円
▽経常的物件費についてはゼロシーリング	△ 0万円

特別会計・企業会計

特別会計では介護保険会計を新たに設けたため、前年度の総額より二〇・一%多い百億三千三百六十八万円となっています。

企業会計(水道事業会計)は、第六次拡張事業により前年度より九二・九%多い十二億九千九百九十八万円となりました。

上限を引き下げました。

予算を性質別にみると、義務的経費では、介護保険の関係で扶助費が大幅に減っているほか、人件費、公債費も減少しているため、全体で昨年より二・三%の減となっています。投資的経費では、鹿谷児童センター建設事業の完了と長尾山総合公園事業の減額などにより、前年度より六・六%の減となっています。

▲県立恐竜博物館の建設工事がすすむ
長尾山総合公園



長

尾山総合公園事業では、国・県の都市公園補助や「ふるさとづくり事業」（自治省）の制度を有効に活用して、用地取得と公園広場の整備をすすめていきます。エキスポ広場については、エキスポ終了後に県の委託事業として復旧工事を行います。

道路等の整備関連では、新年度は大きな事業はありませんが、市街地の流雪溝の整備など、きめ細かな事業に取り組んでいきます。

また、中部縦貫自動車道の用地買収はほぼ一〇〇%完了し、新年度はトンネル工事に着工（国直轄事業）するところから、早期開通に向けてさらに国、県等に強く働きかけていきます。

誰でもが住みたくなる 安全で豊かな 生活環境の整備

- 臨時交付金事業（市道等の整備） 1億円
- 国県道改良事業負担金 7,000万円
- 個性と活力に満ちた雪国創造事業 4,800万円
- 雪寒地域道路事業 2,900万円
- 水路改良事業 4,600万円
- ★交通安全対策 652万円
（チャイルドシート補助を含む）
- 京福電車利用促進事業 7,106万円
- 下水道特別会計繰出金 9億8,699万円
- 農業集落排水事業 2億1,250万円(特)
- 上水道第6次拡張事業 7億1,558万円(特)
- 鹿谷地区簡易水道拡張改良事業 1億7,451万円(特)
- 合併処理浄化槽設置補助 666万円
- 長尾山総合公園事業 5億7,721万円
- 防災のまちづくり事業 1,608万円
- 廃棄物対策諸経費 1,876万円
- 廃棄物処理対策事業 2億2,543万円
- 屋根融雪化促進事業補助金 3,900万円
- 過年発生林道災害復旧事業 1,100万円

- 市総合計画策定事業 977万円
- 国勢調査 1,343万円
- 市長選挙費 1,567万円
- 衆議院議員選挙 2,020万円

★新規事業を含む、(特)は特別会計

エキスポPRで電車利用促進

チャイルドシートに助成

交 通防災関連では、四月から着用が義務づけられたチャイルドシートへの購入に補助制度を設けたほか、計画的に整備をすすめている防火水槽三基を設置し、地区自衛消防隊に小型消防ポンプを三台配備します。

京 福電車利用促進事業では、各種助成制度を継続するとともに、恐竜エキスポ来場者の利用とイメージアップを目指し、「恐竜エキスポふくい2000」のPR車両を二両製作し

ます。今年度は、十三年度以降の方針、方策が検証される年でもあることから、県ならびに沿線市町村が一丸となって利用促進に努め、存続に向けた取り組みを強化していきます。

環 境行政関連では、ごみの減量化とリサイクル社会を形成することを基本として、分別収集によるごみの適正処理と、廃棄物対策に積極的に取り組んでいきます。



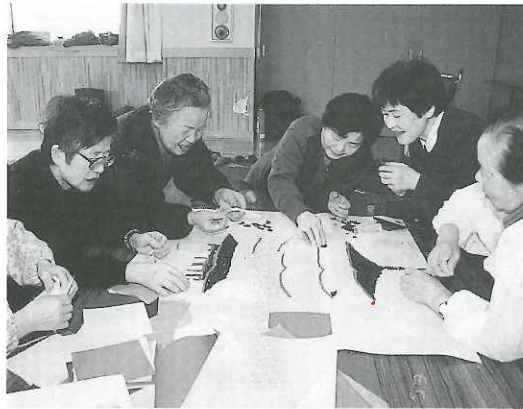
▶十二年度も新たに二両の恐竜電車を製作します

介

介護保険が四月から導入されたことにもとめない、福祉事務所の「高齢者対策係」の名称を「介護保険係」に変更して業務を開始しました。

介護保険の認定審査で「自立」と判定されると、デイサービスやホームヘルプなど従来のサービスが受けられなくなるため、生活支援、生きがい活動支援など、高齢者の自立支援事業を積極的にすすめていきます。また、介護をする家族を支援する事業を充実するとともに、低所得者に対して介護保険のサービス利用者負担の軽減を行います。(折込参照)

また、高齢者の外出機会の増加と社会参加を促進するために、公共施設や商店街、病院等を巡回するバスを運行



▶介護保険が導入され、自立支援事業に重点をおきます

するとともに、既存の路線バスの乗車賃補助制度を新設します。(五月以降予定)

子

育て支援策として平成四年から行っている乳幼児育成奨励金制度を今年度さらに拡充し、第四子には計四十万円、第五子以上には計五十万円を支給することとしました。そのほか、保育料の軽減策や子育て支援センターの充実、時間延長保育など、少子化対策事業をすすめていきます。

高齢者自立支援策充実

新火葬場着工

健

康増進事業として、生活習慣病の予防と早期発見、さらに寝たきりの高齢者が増えないよう、健康教育や健康診断などを行います。また、一歳六カ月・三歳児健診、母子・乳児健診などを実施します。

新火葬場施設の建設のため、現在国道一五七号からの開発道路工事に着手しています。平成十二年度、施設建設工事に着手し、来春の完成を目指します。

すべての人が 安心して生活できる 社会福祉の充実

●身体障害者保護費	1億 867万円
●ひとにやさしい まちづくり推進事業	3,335万円
●在宅介護支援センター運営事業	2,345万円
★地域福祉バス事業	4,232万円
★高齢者等の生活支援事業	448万円
★介護予防・生きがい活動 支援事業	2,818万円
★家族介護支援事業	392万円
★介護保険特別会計繰出金	2億4,686万円
★低所得者利用者負担対策事業	652万円
★第3子以上乳幼児育成奨励金	1,704万円
★児童手当等支給費	7,424万円
●乳幼児医療費支給費	3,233万円
●私立保育園児童運営委託	4億2,208万円
●地域子育て支援センター事業	218万円
●開所時間延長促進事業	919万円
●乳幼児健康支援サービス事業	449万円
●国民健康保険特別会計繰出金	1億 256万円
●老人保健特別会計繰出金	1億9,080万円
●老人保健事業	4,184万円
●予防接種事業	2,057万円
●1歳6カ月・3歳児健診事業	129万円
●妊婦・乳児健診事業	765万円
●火葬場建設事業費	5億9,696万円

▶新火葬場に通じる開発道路の工事風景



◀各学校では「総合的な学習の時間」で様々な学習活動に取り組めます



学

学校教育関連では、今年度から「総合的な学習の時間」が新たに加わることから、各学校の主体的な活動を支援するとともに、特色ある学校づくりをすすめていきます。また、「心の教室相談員」や「情報教育アドバイザー」、「学校生活支援員」の配置、さらに適応指導教室に専門の指導員を配置するなど、指導者の充実を図ります。

このほか、隔年で実施している理科教育等備品の購入や、音楽教育における、日本の伝統文化継承のための三味線など、教育備品等の充実をすすめます。

学校施設については、北郷小学校でグラウンドの改修整備工事を行い、北

明日の勝山を 背負う人材の育成と 教育文化・体育の振興

- ★教育指導費 1,913万円
(心の相談、特色ある学校づくり補助等)
- ★総合的学習の時間事業 345万円
- 青少年育成事業(適応指導教室) 463万円
- 小学校教材備品整備 1,030万円
- ★小学校遠距離等通学補助 110万円
- 小学校施設営繕工事 1,700万円
- 小学校グラウンド整備事業費 3,084万円
- 中学校教材備品整備費 12,000万円
- 中学校施設営繕工事 911万円
- ★幼稚園施設営繕工事 1,095万円
- 育英資金貸付 3,980万円(特)
- 生涯学習振興事業(国庫) 399万円
- 生涯学習学級(市単) 104万円
- 青年サークル活動支援事業 60万円
- ★公民館営繕工事(障害者トイレ等) 360万円
- 地区公民館整備事業 750万円
- 市史編さん事業 849万円
(資料編第4巻「宗教及び武家等」の発刊等)
- 国史跡「白山平泉寺旧境内」 2,638万円
整備事業
(南谷坊院跡石垣等修復、史跡公有地化等)
- 図書館管理運営費 2,462万円
- 恐竜のまち構想事業 2,034万円
- スポーツライフ推進事業 307万円
- アスペン音楽祭・交流事業 670万円

総合的な学習支援

市史資料編発刊

信越中学校総合競技大会相撲競技大会が開催される北部中学校の相撲場を移転整備します。また、西幼稚園と北幼稚園が統合したことに伴い、北幼稚園の園舎を改修します。

歴

史・文化財関連では、編集作業をすすめてきた勝山市史「資料編第四巻・宗教及び武家等」(A5判、千ページ、六千円)を発刊します。また国指定史跡「白山平泉寺旧境内」で、本格的な史跡整備に向けた調査および

準備をすすめるとともに、南谷坊院跡の公有地化と石垣等の修復を行います。

恐

竜関連では、十一年度に募集した第二回恐竜文化賞の審査を行います。また国際交流事業として、アスペン音楽祭と青少年交流事業を実施します。このほか生涯学習・生涯スポーツ事業も推進していきます。



▶白山平泉寺旧境内ですすめられている石垣等の修復工事

恐

電エキスポを契機に勝山市のイメージアップと観光客の誘致、および観光産業の活性化を図るために、「恐竜王国・勝山」関連事業を盛大に開催します。

エキスポの会場内に勝山市館「チャマゴンランド」を設置し、イメージアップ活動と、まちなかへの誘客をすめます。中心市街地に設置する「チャマゴン村」で物産の販売や発掘体験などの各種イベントを、市内各地で「もてなしの心」を啓発するフラワロードを設置していきます。これらと連携した観光振興策として、平泉寺における観光案内システムや、エキスポ用市街地案内パンフレットを作成します。



恐竜王国・勝山をPRするため、市街地に設置されたモニュメント

産

業振興関連では、長引く不況で厳しい経営状況にある地場産業等の振興策として、市の融資制度に新規開業資金制度と短期季節資金を新たに追加しました。また、市の融資制度を利用した場合の信用保証料補助制度と利子補給金制度も創設しました。

また、奥越地域地場産業振興センターを中心に、地域資源を活用した繊維開発を推進するほか、紙糸織物の製品化とアンテナショップの検討など、活

力ある繊維産業の振興を図っていきます。

農

業関連では、中山間地域の農地について、耕作放棄地の発生を防止し、国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保を図る観点から、国・県の補助を用いた「中山間地域等直接支払事業」を実施

します。また、里芋や菊など、園芸作物の定着化を促進します。

恐竜王国イベント・

不況対策へ新制度

21世紀を目指しての 産業の発展と新産業の開発 ・併せて観光都市の実現

●加工用米出荷奨励事業	259万円
●水田利用合理化事業	2,374万円
●快適でふれあいのある 集落整備事業	1,500万円
●花き産地確立整備事業	435万円
●水田園芸産地定着事業	2,295万円
★中山間地域等直接支払事業	7,449万円
●土地改良（県単）事業	1,200万円
●農道整備等県営事業負担金	1億 762万円
●畦畔整備事業	2,500万円
●民有林林道開設等事業	4,800万円
●林業地域総合整備事業	2,880万円
●地域戦略プラン事業	1億2,510万円
●地元事業所就職奨励金	930万円
★商工貸付金・預託金	4億1,500万円
●工業振興助成金	418万円
★地場産業振興センター補助金	1,971万円
★商工振興補助金	929万円
●繊維振興対策事業	183万円
★観光PR推進事業	663万円
★恐竜エキスポ関連事業	2億7,396万円
●ふれあい市民制度等事業	680万円
●まちづくり関係事業	9,141万円
●ふれあい交流館管理運営費	1億7,939万円



地場産業振興策をすすめます（昨年勝山市ふれあい交流館で行われたワークショップ）

七月二十日から開催される「恐竜エキスポふくい2000」。四月十一日に「100日前を迎え、いよいよ秒読み段階に入ってきました。

四月六日に開催された恐竜エキスポふくい2000勝山市実行委員会の総会で、勝山独自のイベント事業が決定しました。勝山市をPRする絶好のチャンスです。市外・県外に向けた来場への呼びかけや、イベントへの参加など、市民のみなさんのご協力をお願いいたします。



「チャマゴンランド」イメージ図

夢のある、楽しい

『チャマゴンランド』

恐竜エキスポの会場内には、企業や自治体が企画するいろいろなパビリオンが造られます。その一つとして、勝山市でも独自のパビリオン「チャマゴンランド」を設置し、来場者をお迎えします。

チャマゴンランドでは、勝山市のアイドルキャラクター「チャマゴン」・「チャマリ」が、子どもたちに親しみのある楽しい空間を演出します。具体的な内容については、秘密なのでまだ明らかにすることはできませんが、チャマゴン、チャマリんの「生みの親」であるヒサクニヒコさんに応援していただいているので、楽しいパビリオンになるのは間違いありません。

チャマゴンランドでは「恐竜王国・勝山」を積極的にPRし、市内をめぐる「スタンプラリー」などの企画で、来場者を平泉寺をはじめとする観光地や市街地に案内したいと思います。（チャマゴンランドの施設は、イベント終了後長尾山総合公園の管理棟として利用されます。）

恐竜エキスポ ふくい2000

「フクリュウ」の ガールフレンド 愛称募集中



応募方法▷はがき一枚に、
愛称一点。（一人何点でも可）
・はがきに、愛称、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業（学生は学校名と学年）、電話番号を記入。
・5月22日締め切り（当日必着）
応募・問合せ▷〒910-0003福井市松本3丁目16-10「恐竜エキスポふくい2000」実行委員会事務局愛称募集係（☎0776-21-0010内線552番）

まちなかイベント 盛りだくさん

市街地には『チャマゴン村』をつくり、まちなかにぎわいを演出します。

『チャマゴン村』は勝山郵便局前の広場に設置。特産品等の販売コーナーを設けるほか、大道芸人による街角パフォーマンスなど楽しい企画を用意して、弁天駐車場や京福電車を利用するエキスポ来場者に楽しんでいただきます。

開村日程は、エキスポ開催期間中の土・日、およびお盆などのピーク日を予定しています。

チャマゴン村の主な企画

- ◎ 勝山名物「おろしそば」まつり
- ◎ メモリアル人類足跡採取
- ◎ 恐竜化石発掘体験
- ◎ 恐竜乗り物ランド
- ◎ 大道芸人パフォーマンス



恐竜王国

PR事業決定!

フラワーロード のぼり旗で歓迎

来場者をもてなしの心で迎える「フラワーロード」は全市的な取り組みです。主要道路やシヤトルバス沿線にプランターを置き、花のあるうるおい景観をつくります。また道路沿いにチャマゴン・チャマリンのサインや、恐竜王国・勝山をアピールするのぼり旗を立てて、イベントを盛り上げます。



このほかにも、リサイクル品で作った恐竜モノUMENTコンクールや恐竜花火大会を、勝山夏祭りに併せて開催します。

『チャマゴン村』で

にぎわいをひろげよう

第2期前売券発売中

入場券の種類	区分	第2期前売券 (12.1.1~)	当日売券 (12.7.20~)
普通入場券	おとな	2,200	2,500
	高校生	1,300	1,500
	小・中学生	900	1,000
フクリュウパス (繰り返し入場可能)	おとな	6,000	7,500
	高校生	4,000	4,500
	小・中学生	2,500	3,000

入場券(前売券)販売箇所

市役所のほか、入場券取り扱い広告ポスターを掲示しているお店など。

アイドルキャラクター 「チャマゴン」 「チャマリン」の使用について

勝山市のアイドルキャラクター「チャマゴン」「チャマリン」の図柄や「恐竜王国・勝山」のロゴについては、市民や企業、団体で幅広く活用していただきたいと思います。

ただ、著作権、使用権に影響がありますので、使用する場合は必ず事前に恐竜エキスポ推進室までご連絡ください。

問合先▷市恐竜エキスポふくい2000推進室(☎内線421番)

3月定例市議会

新年度予算、 介護保険条例など 73議案可決

3月定例市議会が、3月3日から23日までの日程で行われました。平成12年度一般会計など議案73件を可決、陳情1件を採択しました。

3月7日と8日に代表質問と、一般質問が行われました。



▲代表質問に答える今井市長

決まった主な内容

予算

平成十二年度一般会計予算を百二十五億九千六百六十万円、特別会計を総額百億三千三百六十八万三千元、企業会計の水道事業会計を十二億百九十六万三千元としました。(予算特集に詳細掲載)

また、平成十一年度補正予算も可決。一般会計は二億三千八百八十四万二千円増額し、百三十四億九千八百八十三

万九千円としました。特別会計は一億六千八百五十二万六千円増額し、総額八十六億八千二百四十八千円に、水道事業会計は一億三百六十七万一千円増額し、七億四千五百五十二万四千円としました。

条例改正等(主なもの)

- 介護保険条例「介護保険導入に伴う」
- 介護保険円滑導入基金条例「介護保険の円滑な導入を目的とする基金の設置」
- 市税条例の一部改正(国民健康保険税、都市計画税等)「地方税法等の改正、介護保険法制定による」
- 印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正「民法の一部改正による」
- 国民健康保険条例の一部改正「国民健康保険法の一部改正による」
- 「勝山市手数料条例」等の三十三条例、一規則の改正
- *地方分権一括法(地方自治法の改正)に合わせた条例、規則の改正

陳情

○女神川・弁財天川の砂防及び多目的ダム建設に関する陳情書

委員の推薦(諮問)

- 人権擁護委員(敬称略)
- 増田 公輔(70) 〓野向町竜谷
- 米村 末子(57) 〓猪野口

代表質問

〔要旨〕

二十一世紀を展望した 市政の推進について

明政会
代表 近藤栄治議員

- 一、二十一世紀を展望した市政の推進に関連して次の点を問う。
- ①基本的な考え方について。
- ②恐竜エキスポ終了後の対応について。

市長「一」の①、「夢のある勝山」、「ふれあい交流がすすむにぎわいのあるまち」をさらに具体化するためには、市民、市議会、行政が一丸となって英知を結集してまちづくりを積極的に展開していく必要があると考える。

市長「一」の②、恐竜博物館を研究施設として位置づけ、大学学部の誘致など県と一体となつてすすめていきたい。

二、当面する教育の諸問題に関連して次の点を問う。

- ① 高校の存続問題について。
- ② 学習活動の活性化について。

教育長 二の①、奥越の生徒の減少は著しく、県教育委員会から奥越で四校維持は困難で、三校体制で統合をすめたい旨の説明があった。市教育委員会としては、進学に際し選択肢の幅が狭まることは生徒の多様性に配慮するから、弊害が大きいと考えている。教育環境の整備の観点から、何らかの話し合いの場づくりを積極的に取り組んでいきたい。

教育長 二の②、今年度は総合的な学習の時間事業、特色ある学校づくり補助、中学校プラスバンド充実費等、児童生徒のニーズに応え予算計上した。

三、下水道事業の展望と対策について。

市長 三、公共下水道事業は、十一年度末見込みの整備面積が約六六〇ヘクタールで整備率は七四%となっている。限られた予算の中ではあるが計画的に整備を行い、早期完成に努力していきたい。農業集落排水事業は、三十三集落を七地区に分けて平成五年度より事業に着手した。このうち二地区についてはすでに供用開始し、西部地区につ

いても九年度より順調に進ちよくしている。他の地区においても早期着手に向けて努力していきたい。

四、介護保険に関連して次の点を問う。

- ① 施設サービス、居宅サービスの対応について。
- ② 低所得者への対応について。
- ③ 自立者対策について。
- ④ 施設における薬服用者の薬代について。
- ⑤ 特別養護老人ホームの経過措置者の対応について。

福祉事務所長 四の①、施設サービスについては、辛いベッド数はじゅうぶんであるの確保される見込みである。居宅サービスにおいても供給量が需要を上回る見込みである。

福祉事務所長 四の②、高額介護サービス費の限度額は、一般は三万七千二百円、市県民税非課税所帯は二万四千六百円、生活保護所帯等は一万五千元となっている。限度額を超えた場合は償還払いとなっているが、市社会福祉協議会による無利子制度を活用することができると聞いている。ホームヘルパーの低所得者の利用料は当面二%に、社会福祉協議会が実施するサービスにも五%の軽減措置がある。福祉事務所長 四の③、平成十一年度まで実施してきたサービスについては

基本的には継続していく。

福祉事務所長 四の④、現在国において介護保険と医療保険のはざまにある問題点を検討しているように聞いているので、今後の推移を見守りたい。

福祉事務所長 四の⑤、ケアハウス・高齢者生活福祉センターの建設は、介護保険計画の中では平成十六年までにしているが、対応が遅くならないように事業者と調整を図っていきたい。

五、雪対策に関連して次の点を問う。

- ① 除雪体制について。
- ② 流雪水の確保について。

建設部長 五の①、積雪が十センチメートルを超えると、出動態勢を決定し、市保有除雪車と委託業者に連絡して除雪を実施している。

建設部長 五の②、近年は市街地の拡大によって、流雪水の不足が随所で見られるようになってきている。今後とも流雪溝の整備による雪対策をすすめていきたい。

地方分権と 行財政について

湧智会

代表 佐々木隆也 議員

一、地方分権と行財政に
関連して次の点を問う。

- ① 行財政の基本理念について。
- ② 地方分権によるシャトルバス運行のありかたについて。

市長 一の①、大型プロジェクト事業のみならず、市民一人ひとりの要望を取り入れながら、多様化する行政ニーズに対応できるようきめ細かな施策を展開していきたい。今後の財政運営に当たっては、中長期の財政見通しを踏まえて健全財政の維持に最大限の努力をしていく。

総務部長 一の②、国、県の情報を得ながら対応していきたい。

二、廃棄物処理に関連して次の
点を問う。

- ① 広域行政事務組合のごみ処理施設計画と進ちよく状況について。
- ② 小型焼却炉の運転状況について。
- ③ クリーンセンターの解体撤去について。
- ④ 民間事業者廃棄物の、公的施設対応の可能性について。

市民福祉部長 二の①、和泉村内の二候補地において地元の了解を得るための交渉を継続している。また、最適な処理方法を検討しているところである。平成十四年十一月を目標して最大限の

努力をしている。

市民福祉部長 二の②、週に二ないし三回程度稼働し、処理量については一回につき二トン程度処理している。市民福祉部長 二の③、現在、厚生省並びに県に対して財産処分承認について手続き中である。解体跡地については地権者との契約の中で現況に復旧してお返しするという内容になっている。

市民福祉部長 二の④、農業用マルチ、繊維クズ等について、広域行政で取り組もうとしている施設で処理できないが検討している。

- 三、まちづくりと中心市街地の活性化に関連して次の点を問う。
- ①空洞化対策について。
- ②現振興計画の残された課題について。

市長 二の①、現在策定中の総合計画の地区別、産業別懇談会の中でも市街地活性化に向けた意見交換をされており、同時に策定している都市計画マスタープランでも市街地のあり方について検討している。これらを踏まえて、次の総合計画の基本構想、基本計画の中で方向性を出していきたい。

企画課長 二の②、これまで問題点を総括しながら、次期総合計画に盛り込んでいくか検討していきたい。

四、介護保険制度に関連して次の点を問う。

- ①認定申請の内訳について。
- ②自立認定者の支援継続について。
- ③国保加入者の算定方法について。
- ④サービス重複による負担増加について。
- ⑤助成制度の継続について。
- ⑥地域福祉バスの運行について。

福祉事務所長 二の①、二月末現在、八百三十一人の審査が終了し、自立百四人、要支援百八人、要介護一 百八十九人、要介護二 百三十五人、要介護三 九十一人、要介護四 九十一人、要介護五 百十二人となっている。福祉事務所長 二の②、高齢者の自立支援を大きな柱のひとつに位置づけ、寝たきり予防の強化、痴呆性高齢者対策の推進、自立者に対する介護保険対象外のサービス推進等の施策を実施することとしている。

市民福祉部長 二の③、介護保険の第二被保険者で国保に加入しているかたは、従来の医療分に加え介護分を上乗せして国民健康保険税を納付していたりすることになる。それぞれの率、額については今回市税条例の一部改正案として提案している。

福祉事務所長 二の④、新たに家事援助と介護を合わせた複合型サービスが設定された。受託介護支援事業者とじゅ

うぶん連携をとりながら、ケアプランを策定するよう指導していきたい。

福祉事務所長 二の⑤、福祉用品については年十万円程度、住宅改修購入費には、原則一回まで二十万円限度で保険料の中から支払われることになっている。従来との差額については一般会計の中でみていきたいと考えている。

総務部長 二の⑥、高齢者がバスを利用する場合、どこから乗っても市街地まで二百円で利用できる福祉バスや、だれでも利用できる市街地循環バスを運行する。

一般質問

〔要旨〕

市民生活優先への政策転換について

山田 安信 議員

一、財政健全化計画について。

市長 二、今後とも弾力的な財政運営を念頭に置いて健全財政を堅持してい

きたい。

- 二、リゾート開発に関連して次の点を問う。
- ①勝山高原開発（株）への増資問題について。
- ②上水道整備費と市有林賃借料の軽減問題について。
- ③市街地活性化に結びつけることについて。

市長 二の①、通年型リゾートとして芝地や花畑、テニスコート、グラウンドなどを整備する予定である。経営基盤強化策として、東急不動産、県、市の三者で出資したいと考えている。

建設部長 二の②、将来計画も踏まえ、公共施設の本来の性格も考慮し、応分の負担をお願いしたい。

産業部長 二の②、国の算定方式に準じて使用料を算定した。十年度から十二年度は経過措置に基づく賃貸借料とし、差額分については十三年度以降五年間で一括または分割で徴収する措置を講じた。

市長 二の③、雇用効果や物品納入といった経済効果だけでなく、通年型リゾートを目指すこの機会をとらえ、構築していきたい。

三、長尾山開発に関連して次の点を問う。

①「これ以上は開発しないだろう」